

デジタル技術を活用した食育の推進 デジタル食育ガイドブック



農林水産省

デジタル食育のことを知りたい方は▶▶▶

デジタル食育の概要

はじめに	2▶	「デジタル食育」の主なメリット	6▶
これから「デジタル食育」を始める皆様へ	3▶	「リアル体験」と「デジタル食育」	8▶
ガイドブックのねらい	4▶	「デジタル食育」の注意すべきポイント	9▶
「デジタル食育」とは?	5▶	「デジタル食育」の主な発信方法	10▶

オンライン食育イベントを開催したい方は▶▶▶

オンライン食育イベント

「オンライン食育イベント」制作フローチャート	11▶	よくあるトラブルや制作上の留意点	21▶
「オンライン食育イベント」実証体験レポート	12▶	「オンライン食育イベント」事例	23▶
「オンライン食育イベント」運営マニュアル	16▶		

食育動画を制作したい方は▶▶▶

食育動画

「食育動画」制作フローチャート	27▶	「食育動画」よくある失敗や制作上の留意点	33▶
動画制作上の注意点	28▶	「食育動画」事例	35▶
「食育動画」実証体験レポート	29▶		

SNSを活用した食育活動を行いたい方は▶▶▶

SNSを活用した食育活動

「SNSを活用した食育活動」フローチャート	39▶	「SNSを活用した食育活動」事例	41▶
「SNSを活用した食育活動」運用上の注意点	40▶		

アプリを活用した食育活動を行いたい方は▶▶▶

アプリを活用した食育活動

アプリを活用した食育活動	43▶	「アプリを活用した食育活動」事例	44▶
--------------------	-----	------------------------	-----

「デジタル食育」をさらによくするために▶▶▶

「デジタル食育」のPDCAサイクル

「デジタル食育」のPDCAサイクル	45▶
-------------------------	-----

生活を支える多くの分野でICT（情報通信技術）や AI（人工知能）の活用等デジタル技術は日々進展し、普及が加速しています。

さらに昨今では新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、身体的距離の確保や3密の回避が迫られる中、デジタル技術の活用は喫緊の課題となっており、第4次食育推進基本計画においては、横断的な重点事項として「デジタル技術を活用した食育の推進」等が位置付けられています。

これからの「新たな日常」においては「デジタル食育」の推進により、食育の活動者を増やしていくことが必要となります。

そこで、「デジタル技術を活用した食育の推進」等についての実証及び調査を実施し、実施の際の留意点を盛り込んだ「デジタル食育ガイドブック」を作成しました。

これからデジタル技術を活用した食育の推進を目指す農林漁業者、各種団体、企業等の「デジタル食育」の実践に、「デジタル食育ガイドブック」をお役立てください。



失敗を恐れず「デジタル食育」 にチャレンジ!

「デジタル食育」は、「新たな日常」の時代には欠かせないコミュニケーション手段です。まずは失敗を恐れずにチャレンジしてみましょう。最初は完成度が高くなくてもよいので「デジタル食育」の最初の一步を踏み出しましょう。

楽しみながら取り組むことが 「デジタル食育」長続きの秘訣!

「デジタル食育」はとっつきにくいものと思われるかもしれませんが、そう感じるのは最初だけです。慣れないことでも楽しみながら始めることが大切です。楽しみながら行うことが「デジタル食育」を長続きできる秘訣とも言えるでしょう。

トライ&エラーを繰り返して ステップアップ!

こうしたらもっと上手くいくかも、もっと効果が上がるかも、と思ったらどんどん試してみましょう。そして効果がうまく上がらなかったら違う方法を考えてみる。このトライ&エラーの繰り返しが、「デジタル食育」を上達させていきます。

ガイドブックの対象者

このデジタル食育ガイドブックは

**「デジタル食育」の取組に関心があり、
今後実践してみたいと考えている
食育に取り組む個人・グループの方々**

を対象に作成しています。



ガイドブックのねらい

- 1 「デジタル食育」に取り組もうとしている利用者が、このガイドブックを参照して「デジタル技術を活用した食育の推進」の一助となることを目的に編集しています。
- 2 このガイドブックはルールを示したものではなく参考資料として作成しています。必要に応じて部分的に参照して活動に役立てていただけます。
- 3 これから「デジタル食育」に取り組もうとされている方の参考になるよう、「オンライン会議システムを活用した食育活動」、「食育動画を活用した食育活動」の実証を行い、参加された団体等の声も交えて編集しました。



本ガイドブックにおいて、デジタル技術を活用して効果的に行う食育活動を「デジタル食育」といいます。

「デジタル食育」手法の一例

●オンライン会議システムを活用した食育活動



全国どこからでも
リアルタイムで
参加者とつながる

●食育動画の作成・公開



事前に制作した
動画をホームページや
YouTubeなどで
繰り返し配信

●ホームページやブログによる食育情報の発信



不特定多数の人々に
食育情報を持続的に
発信できる

●SNSによる食育情報の発信



Instagram、
Twitter、Facebook
などで食育情報を拡散

●学校現場でのタブレットを活用した食育



動画教材等で子供の
興味をひきやすく
視覚的にわかりやすい

●アプリを活用した食育活動

アプリで健康管理や
食の教育等ができる



各章のタイトルをクリックすると
その章の最初のページにジャンプします

メリット①

「新たな日常」の中で食育を推進

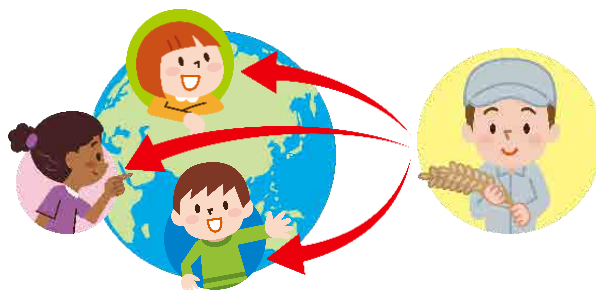
「新たな日常」において人を集めた食育活動が制限される中でも「デジタル食育」であればオンラインで食育を推進できます。



メリット②

どこからでも食育に取り組める

参加者はインターネット回線さえあればどこからでも「デジタル食育」に参加できます。講師と参加者が離れていても食育を行うことができます。



メリット③

いつでも食育活動に参加できる

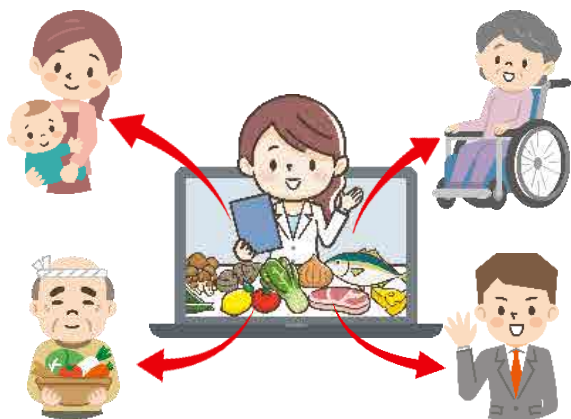
食育動画を好きな時に視聴できたり、食育アプリでちょっと空いた時間に楽しみながら学べたりと、いつでも気軽に食育に参加できます。



メリット④

今までとは違う層と つながる

「デジタル食育」はオンラインでのコミュニケーションとなるため、これまでの食育活動とは異なる新たな層へのリーチが期待できます。



メリット⑤

楽しみながら食育を 推進できる

ゲーム感覚で食育の授業を受けられたり、アプリを使って日々の健康管理しながらポイントが貯まったりと楽しみながら食育を推進できます。



メリット⑥

食育情報のリソース を活用できる

食育情報のデジタル化により、いつでもどこからでも食育情報を取り出せたり、食育のリソースを活用でき、食育活動の効率化を図ることができます。

